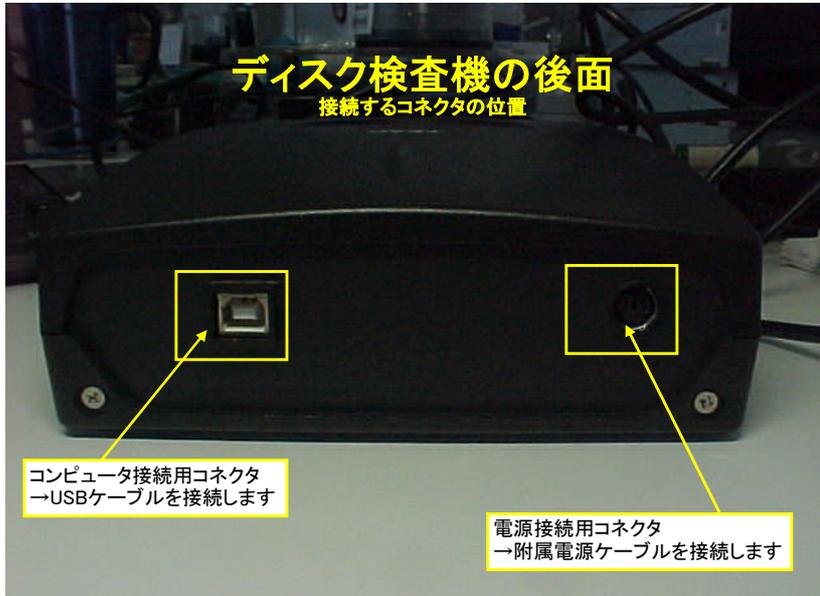


2014年1月21日
ティアック株式会社
ストレージソリューション部営業部
テクニカルサポート課

Disc検査機(DK-5000S)のファームウェア書換え手順について、以下の手順で実施を御願いたします。

1. コンピュータにDisc検査機を接続します。

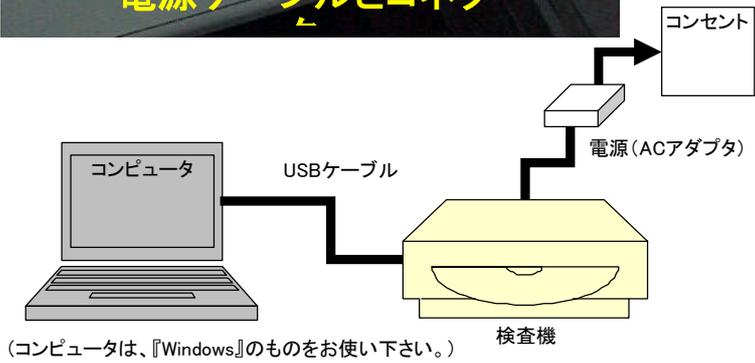


USBケーブルについて



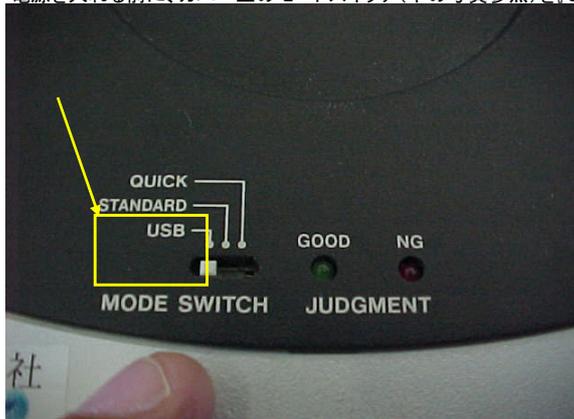


コンピュータ側のUSBコネクタ(例):
コンピュータにより、コネクタの配置されている位置は異なります。
左写真は、2個並列にあるコンピュータのもので、
どちらか片方に、検査機に挿入されたUSBケーブルの、もう片方
(PC側へ接続するケーブルのコネクタ)を挿入してください。



2. 検査機の設定

電源を入れる前に、カバー上のモードスイッチ(下の写真参照)を『USB』へ変更(一番左へスライド)してください。



上記設定及びコンピュータへの接続が完了したら、電源を入れてください。(電源アダプタのACケーブルをコンセントに差してください。)

注)もし先にACケーブルがコンセントに差してあり、上記モードスイッチをその後に入れた場合は、一度ACケーブルをコンセントから外して再度挿入してください。

注)検査機がコンピュータに認識される為にかかる時間は、コンピュータに依存しますので、コンピュータが認識されたかどうかは以下ので御確認を御願いたします。

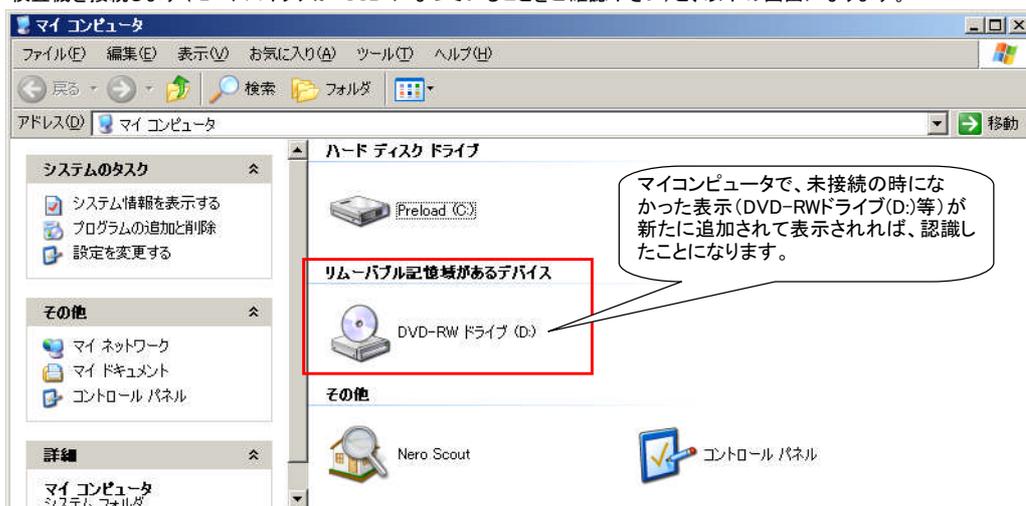
<検査機がコンピュータに認識された状態の確認>

"マイコンピュータ"をクリックします。(以下の画面が出ます:Windows XPの場合)



上記画面に、検査機("DVD-RWドライブ"等の表示)がありません。この場合は、検査機が未接続又は認識していない状態です。(PCに最初からDVDドライブ等が接続されている場合は、表示されています。)

検査機を接続します(モードスイッチが"USB"になっていることをご確認下さい)と、以下の画面になります。

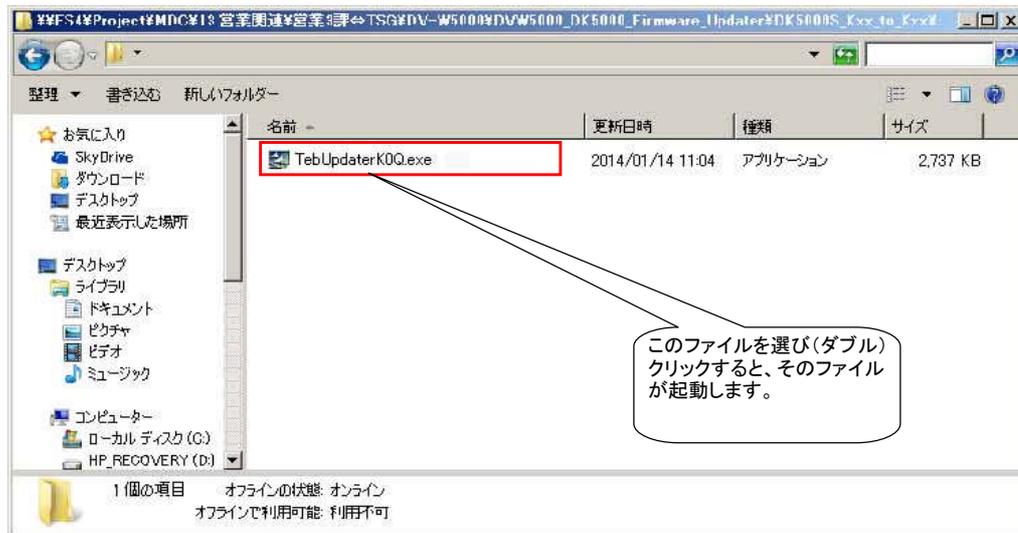


注)上の画面は、WindowsのVersionや、接続されている機器の状態等で、表示が異なる場合があります。

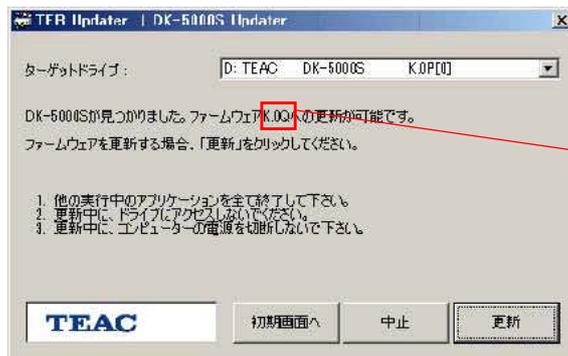
(例:"CD-ROMドライブ"や"DVD-RAMドライブ"という表示や、一方で、"(D)"ではなく"(E)"や"(Z)"等もあります。)

ここでは、『検査機を接続する前の状態』に対し検査機を接続後、マイコンピュータで"追加される光ドライブ"ができることをご確認頂ければ結構です。

- (1)ファームウェアアップデートツールを起動します。
 ファームウェアファイルをコンピュータにコピーをして、それぞれのファームウェアファイルクリック(又はダブルクリック)してください。



- (4)以下の画面がでます。(下記は、K.0Qへの更新の例です。)



注)この更新するF/W名は、使用するファームウェアファイルによって、変わります。

ここで、“ターゲットドライブ”の右に出ます画面の以下の部分に注目下さい。

D: TEAC DK-5000S K.0P[0]
 ないしは
 D: TEAC DK-5000-S K.0P[0]

上記表記の中の、『K.0P』が現在のDK-5000Sのファームウェアのバージョンになります。

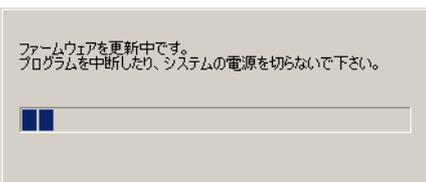
(5) 更新時

更新する場合、『更新』ボタンをクリックしますと、以下の画面が出ます。(画面は、K.0Qの例です。)



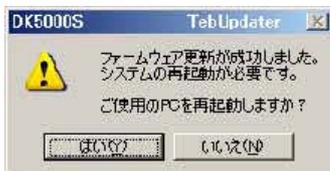
上記画面がでましたら、『はい(Y)』ボタンをクリックしてください。
クリックしますと、ファームウェアの更新が実行されます(以下画面になります)。

注意)更新最中には、絶対に電源を切ったり、ケーブルを抜かないよう御願いたします。
故障し、ドライブが全く動作しなくなることがございます。



更新が終了しますと、以下の画面が出ます。

注)この画面が出るまでは、更新実行中となりますので、上記注意事項の厳守を御願いたします。



ここで、複数の検査機のファームウェアを書換える場合は、『いいえ(N)』ボタンを押してください。

その後、検査機の電源をオフにし、USBケーブルをコンピュータから取り外してください。

(検査機は、ファームウェアの更新完了後、電源を再投入されることで、更新されたファームウェアに変わります。)

その後、次の検査機にUSBケーブル、電源ケーブルを接続し、検査機のモードを"USB"に変更して電源のACケーブルをコンセントに接続してください。

その後、検査機がコンピュータで認識されたことを確認頂き、ファームウェアの更新作業を行うことで複数の検査機の更新が、コンピュータの再起動なしで実施できます。

尚、F/Wを、K.0x(:xは任意)に更新する場合も上記同様のやり方で出来ます。

違いは、更新前のドライブ内のF/W名の表示と、更新するF/W名がそれぞれ変わりますが実施方法は同じ方法になります。

注意事項を以下に整理いたします。

【注意事項】

1. ファームウェア更新実行中は、絶対に検査機の電源をオフにしないで下さい。検査機が全く動作しなくなる場合があります。
2. コンピュータに検査機を接続する場合、電源は、コンセントへの抜き差しでオン/オフ頂けますよう御願いたします。
3. 検査機のモードスイッチは、USBモードに変更してから、コンピュータに接続してください。
この時、電源が入った状態にある場合は、電源の再投入(一旦電源をオフにして、その後電源をオン)してください。
4. 検査機の中にディスクがあるとディスクを取り出すよう、以下の表示がでますので、従ってください。



以上です。